

ヘリポートの運用開始について

京都市立病院では、耐震性能の確保や医療機能の更なる充実を図るため、現在の北館の建替えや本館の改修をはじめとする「京都市立病院整備運営事業」に取り組んでいます。

本事業におきましては、災害現場や他の医療機関からの患者搬送を行うため、新館屋上にヘリポートを整備することとしており、京都市内の病院としては、京都府立医科大学附属病院、京都第一赤十字病院、三菱京都病院に続く4箇所目のヘリポートとなります。

この度、当院のヘリポート運用開始に向け、ヘリコプターの離着陸訓練を下記のとおり行うとともに、3日間の訓練によりヘリコプターの離着陸に安全上、課題がないことが確認できれば、10月15日から運用を開始します。

記

1 ヘリポートについて

- (1) 設置場所 京都市立病院 新館(*)屋上(東側部分)
 - * 鉄筋コンクリート造免震構造 地下1階 地上7階建
延床面積 20,825.20 m²、平成24年12月竣工
- (2) 運用開始日 平成25年10月15日(火)
- (3) 受入時間帯 午前9時～日没
- (4) ヘリポートの種類 屋上緊急離着陸場
- (5) 離着陸するヘリ 京都市をはじめとする自治体の消防ヘリ、ドクターヘリ(*)
 - * 救急用の医療機器を装備し、救急医療の専門医師と看護師が搭乗した救急専用のヘリコプター

2 事前訓練の概要

- (1) 日 時
 - 平成25年10月7日(月) 午後2時
 - 平成25年10月8日(火) 午後2時
 - 平成25年10月9日(水) 午後2時

※ 各日1時間程度
- (2) 場 所 京都市立病院 新館屋上
(京都市中京区壬生東高田町1-2)
- (3) 実施主体 地方独立行政法人京都市立病院機構京都市立病院
京都市消防局
- (4) 主な内容 ヘリコプターの離着陸、搬送患者(模擬)の引継ぎ、誘導灯の点灯、消防職員の屋上への誘導など



京都市立病院ヘリポート



京都市消防局ヘリコプター

(参考)

整備運営事業による主な機能充実の内容

- 1 災害・大規模事故に対応できる機能の強化
新館への免震構造の採用，備蓄倉庫の整備，ヘリポートの整備など
- 2 高次救急医療体制の整備
救命救急部門の拡張（約 200 m²→約 800 m²），手術室の増設（7 室→10 室），I C U・C C Uの拡張（6 床→10 床），N I C U（6 床）及びG C U（6 床）の新設など
- 3 心臓・血管病センターの整備
新館 3 階に手術室，I C U・C C U，心血管撮影室，循環器病棟を近接して配置
- 4 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化
緩和ケア病床の新設（10 床），外来化学療法室の拡張（10 床→14 床），リニアックや PET-CT 等の医療機器の充実など
- 5 療養環境の向上
新館の多床室の面積拡大（現在の約 1.6 倍），病棟へのデイルーム（談話室）や面談室の整備，ユニバーサルデザインの採用など